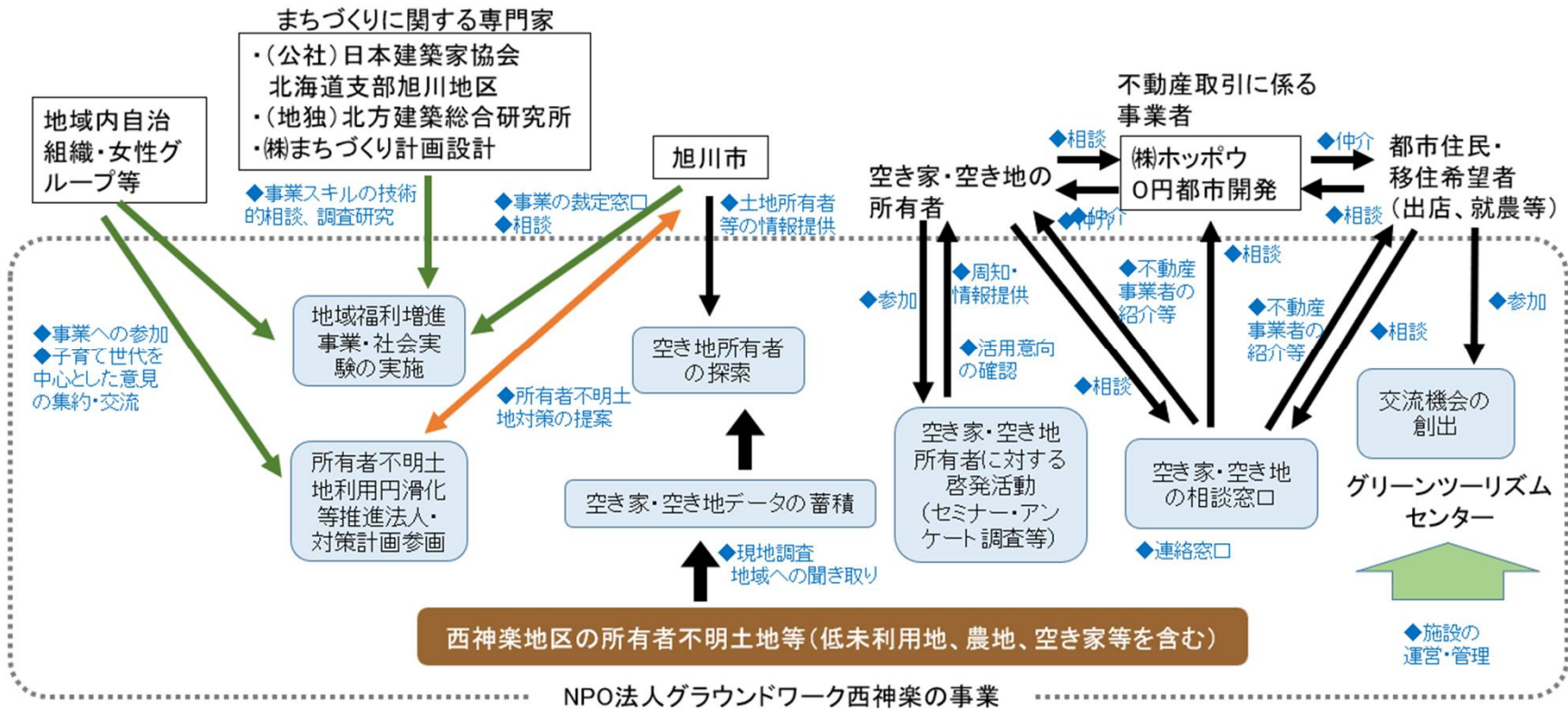


西神楽所有者不明土地対策プロジェクト（北海道旭川市 特定非営利活動法人グラウンドワーク西神楽）

対象地域	対象地域の特性	地域が抱えている課題	主な取組内容
北海道旭川市西神楽地域	中心部に住宅地と農村が混在、医療・買物環境が脆弱で高齢者には利便性が悪い一方で、子育て世代の移住、若者による飲食店・民宿等は増加傾向にある。	評価額が低く、手続きが面倒等の理由から、所有者が売買を躊躇し、空き地・空き家、管理放棄の物件も増加し、地域の環境が悪化。独居高齢者住宅は約200戸あり、今後さらに空き地・空き家は増える可能性がある。また、離農した大規模農地、企業所有地跡等の未利用地も散在している。	●推進法人としての地域活動を推進 ●低未利用地・空き家所有者へのアンケート調査、検討、個別対応 ●地域住民、移住希望者等向けのワンストップ相談窓口の常設 ●「所有者不明土地対策計画」の提案に向けた検討 ●空き家・低未利用地の利活用の社会実験

事業内容・スキーム

- 本事業は、西神楽地区の所有者不明土地等（低未利用地、農地、空き家等も含む）を対象としており、現地調査を踏まえて、地域内の管理不全の状態にある土地に対して優先的に所有者探索を実施する。
- 当該所有者へ土地の活用意向を確認し、必要に応じて不動産取引に係る事業者等の協力を経て、都市住民や移住希望者との交流機会の創出や不動産の流通化促進を図る。
- 所有者不明土地利用円滑化等推進法人として、「所有者不明土地対策計画」の作成について提言
- 空き家・空き地所有者向けの相談窓口を常時開設し、地域内の所有者不明土地の発生予防、土地活用の促進を図る。



モデル事業による取組成果

移住希望者に対する相談窓口の運営
推進法人として、移住希望者に対する相談窓口を常設しており、市内への進出を計画している企業の従業員向けの住宅確保について、市を通じて相談を受け、空き家情報の調査等し、地域への移住の検討を促した。

空き地（民地）を活用した社会実験（西神楽マルシェ）の実施
地域内の空き家に新たに出店した若者などと連携して組成している「西神楽マルシェミーティング」とともに空き地（民地）を活用した社会実験（西神楽マルシェ）を3年連続で開催した。今年度は9店舗が参加し、近隣住民など350名が来場した。今後は、開催を通じて財源を確保していく仕組みを構築し、継続開催を模索していく。

所有者不明土地対策計画作成に向けた「提言」
専門家会議で所有者不明土地の利活用計画や農家の空き家・空き地の課題について議論し、所有者不明土地等対策計画の策定に向けて旭川市に「提言」を提出した。これにより、次年度から旭川市とともに対策計画の策定に向けた検討を行っていくこととなった。